

令和8年度人権教育年間指導計画（第3学年）

小平市立上水中学校

＜指導のための方針＞

- ① 「世界と共に生きる」をテーマに国際化が進む日本で異なる文化を持つ人々との共生を進めていくために必要な資質を各教科、特別活動、総合的な学習の時間等と関連づけて設定する。
- ② 修学旅行の学習を通して日本の伝統文化に触れさせ、自国文化理解を深めるとともに、1・2年の社会科等での学習を基に異なる文化への理解が深められ、尊重できるようにまとめを行う。
- ③ 学級目標の設定で「他者を思いやる」ことを取り上げ、社会科や国語科、道徳科・特別活動等と関連させて身近な社会での協力はもちろん、国際社会の中で共に生きるために必要な事柄について考える。
- ④ 他国の子供の様子や環境問題などを通じてさまざまな国について学び、我が国が世界の一員として何ができるかについて考えることができる。
- ⑤ 異なる国の人々と共に生きていくためにどのようなことが必要なのかを考え、発表できるようにする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
学期のねらい	身近な人との関係から、人権に対する意識をもつ					個性を尊重する姿勢を養う					社会のしくみの中で人権を考える				
各教科	社会 「国際社会における日本の役割」 国際社会と日本のかかわりについて考える。		英語 「Language in India」多言語の国や人・ことば・社会の結びつきについて考える。		社会 「基本的人権の保障」 憲法に保障された基本的人権にかかわる知識を身に付けるとともに、身近な人権問題を考える。		英語 「The story of Sadako」 世界平和を願う気持ちを養う。		社会 「社会保障制度」 社会福祉の現状を考える。		英語 「I have a dream」 キング牧師の業績と黒人の人権を考える。		理科 「地球と私たちの未来のために」 環境保護を考える。	社会 「私たちと国際社会」 よりよい社会を目指して、世界の一員としてできることを考える。	保健体育 「病気の予防」 エイズについて正しく理解する。
道徳	「私がピンク色のキャップをかぶるわけ」 互いに高め合うことのできるような人間関係を築いていこうとする心情を育てる。		「アイツとオレ」 他者と相互に理解し合う力を心情を育てる。 「いじめ防止授業」		「小さな出来事」 誰に対しても公平に接するために、どんな考え方が必要か考える。		「きみは赤ちゃん」より かけがえのない命を尊重する心情を育てる。		「インターネットの中の社会で」 自分の言動に責任をもとうとする実践意欲と態度を養う。 「いじめ防止授業」		「希望の義足」 国際的な視野に立って、世界の平和を考える。		「命と向き合う」 生命の尊さについて考えさせ、生命を尊ぶ心情を育てる。 「いじめ防止授業」		
特別活動	「学級づくり」 ・人を大切にする学級づくりを考える。 ・協力する大切さを学ぶ。		「学級づくり」 いじめのない人間関係に大切なことは何かを考える。		「生徒会選挙」 社会のしくみを学び、参政権について考える。		「学級づくり」 行事を通して協力する大切さを学ぶ。		「自分とは」 自分とは何かを考える。		「まとめ」 仲間と共に生きることを考える。				
総合的な学習の時間	「日本の伝統文化」 ・京都、奈良の文化を学習することで日本の伝統文化を理解する。 ・自国の文化及び他国の文化を尊重しようとする態度を育成する。					「進路選択」 自らの適性に沿った進路選択を進め、他の進路も大切にする気持ちを育成する。					「自己表現力養成講座」 話す・聞く・話し合う(コミュニケーション)活動を通じて、自己有用感・自尊感情を高める。				
その他の学校行事等	「体育大会」 互いの良いところを認め合い、協力する態度を学ぶ。						「合唱コンクール」 協力する態度を養う。		「人権週間」 校長講話		「卒業式」 尊敬・感謝の気持ちを表す。				